

令和4年度「みやぎの文化を考える懇談会」(第2回) 議事概要

<実施概要>

- 1 日時 令和5年2月8日(水) 14:00~16:00
- 2 場所 県庁防災庁舎 防51号室

<議事概要>

※ 以下、計画素案等に関する意見交換の概要を記載

- 生まれた場所によって子供たちが文化に触れられる体験が全く違っている状況があると思うので、現状の把握をしてもらいたい。
- 学校の現場で、機会の減少という面はあると考えている。学校が積極かどうかでも差が出ているため、県教育委員会から、いろいろ積極的に進めてもらいたい。
- 国の調査結果を見ても、親が文化に関心がなければ、子どもは文化に触れる機会が少ないという状況があると考えている。そのため、学校の果たす役割は非常に大きい。
- 計画の中に、もう少し「コミュニケーション」といったワードが入ると良い。
- ネーミングライツの制度は、文化の分野と相性が悪いと考えている。そのため、計画の中に、書き込むべきかどうかを、再度検討して欲しい。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今の子どもたちは、文化芸術体験が減ったことを踏まえ、計画期間の4年間では、子どもの文化芸術体験の確保にしっかり取り組んで欲しい。
- 文化芸術にアクセスしにくい方への支援という点が見える記載があると良い。
- デジタル技術を積極的に活用することに対する施策を検討して欲しい。
- 市町村史へのサポートを検討して欲しい。
- 「障がい者の文化の活動のレベルアップ」という文言は、見直しを検討して欲しい。
- 学校の現場も含め、行政の文化部署に専門家職員の配置を検討して欲しい。